

# With Friends

令和3年6月1日  
島本町立第一小学校  
人権仲間づくり部

「おたがいの存在を認め合う集団づくり」「基本的な人間関係スキルの習得」  
「個と個、個と集団の豊かなつながりづくり」をめざして  
島本町立第一小学校では、さまざまな活動を通して、一人ひとりの人権を大切にすることを育みます。

## なかまのつどい 4月30日

学級目標、学年目標を考えることで人権・集団の意識を高めることをねらいとしています。  
各学年から全校児童に発表し、目標達成に向けて1年間取り組んでいきます。今年度も、ZOOMを使って、各教室から発表をしました。

### 「児童会目標」

- 元気にあいさつをしよう
- 相手の気持ちを考えて、やさしく声をかけよう
- 学校のルールを守ろう
- 先生や友だちの話を真剣に聞こう

## 各学年の学級・学年目標

- 1年 『みんな なかよし』
- 2-1 『・人の話をきき、自分のおもいをつたえる  
・ともだちときょう力する  
・なにごとにもチャレンジする』
- 2-2 『・ともだちときょう力する  
・人の話をききながら 自分のおもいをつたえる  
・すすんで あいさつする』
- 3-1 『・楽しく ・ルール ・助け合い』
- 3-2 『いじめのない安心できるクラス』
- 4-1 『・自分からあいさつする  
・遊びと勉強のメリハリ  
・やさしい言葉で、気持ちを伝える』
- 4-2 『だれにでも優しい元気で明るいクラス』
- 5-1 『誰でも下級生のお手本になれるよう、メリハリをつけて行動し、  
自信や誇りをもって、自分からどんどんチャレンジしていく!』
- 5-2 『みんなちがってみんないい  
認め合い・思いやり・仲間・笑顔・自立を大切にするクラス』

- 6-1 『最高学年として  
・あいさつや時間のきりかえをきちんとする  
・何ごとにも積極的にチャレンジする  
・一人ひとりの個性を受け入れ、相手のことを考える』
- 6-2 『・6年生として下級生のお手本になる  
・一人ひとりが協力して助け合えるクラス  
・元気にあいさつをする』

一人ひとりがみんなで決めた、児童会目標や学級・学年目標を意識しながら、過ごしていきましょう。

## SDGs (持続可能な開発目標)

SDGsは、途上国だけでなく、先進国も含めたすべての国が取り組むべき17の目標と169のターゲットが定められた国際目標です。2001年から2015年までの「ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals:MDGs)」に続く目標として、2015年9月に国連総会で採択されました。SDGsが大切にしていることは、「誰一人取り残さない」という理念です。

児童会での取り組みや、各クラスの学習の中でも話をしながら、誰一人取り残さないためにどんなことができるかを考え、行動できる力を育てていきたいと思えます。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 「いじめって・・・？」

いじめについて、教育委員会よりお手紙が配布されています。手紙をもとに、各学年でもいじめについての授業を行いました。いやなことをされた時にはどうしたらいいのかわからないのか、友だちと仲良く過ごすためにはどうしたらいいのかわからないのか各学年で考えました。また、いやなことがあったときには、一人で抱え込まず誰かに伝える、相談をするということも確認をしました。どの学年でも、一生懸命考えた皆さんの意見を出してくれました。考えたことを忘れず、自分を守るために、友だちを守るために行動してほしいと思います。

## 低学年

### 『ふわふわ言葉・ちくちく言葉』

言われたらうれしい言葉、いやな言葉について考え、言われたらどんな気持ちになるか考えました。また、いろいろな場面に応じて、どんな言葉かけをしたらいいかを交流しました。けがをした子には、「大丈夫？」「一緒に保健室行こうか？」や、初めてのことができた子には、「すごいね！」「おめでとう！」などたくさんのふわふわ言葉がでてきました。

## 中学年

### 『友だちにとっての自分』

「あのときすきになったよ」という絵本を使って、「本当の友だち」とはどういう存在か考えました。“助け合う”、“けんかしてもすぐに仲直りできる”、“ダメなことをダメと言える”などたくさんの考えがでてきました。一人ひとりが本当の友だちになるために、できることをしていきたいと話していました。

## 5年生

### 『いじめといじり』

いじめといじりについて考えました。自分の中では「いじり」のつもりでも、相手にとってどうなのか、相手はいやがっていないか、「いじり」のつもりでも「いじめ」になっていないかを考えました。

## 6年生

### 『転校してきた子』

いじめの構造について考えました。「被害者」「加害者」「傍観者」「味方」の役割について知り、「被害者」だけは、自分で選ぶことができないことをおさえました。また、どうしたら、「味方」の存在になることができるのかを考えました。

① からかわれたり、いやなことを言われる。

② 仲間はずれ・むしをされる。

③ 軽くぶつかれたり、遊ぶふりをしてたたかれたりする。

④ ひどくけられたり、プロレスわざをかけられたりする。

⑤ モノやお金をムリにわたすように言われる。

⑥ モノをかくされたり、こわされたり、すてられたりする。

⑦ いやなことやはずかしいこと、きけんことをされる。

⑧ パソコンやケータイ・スマホで悪口を言われる、いやなことをされる。

⑨ うそやうわさをながされる。

あなたの まわりで  
こんなことありませんか？  
していませんか？

島本町教育委員会  
島本町小・中学校生活指導研究協議会

こんな時、どうする？

- なぜそんなことをするのか聞く
  - 「いや」「やめて」と言う
  - 話し合う
  - 友だちに相談する
  - 先生や家の人に相談する
  - 自分がされたらどんな気持ちになるか聞く
- 一人で抱え込まず、周りの人にヘルプを出しましょう。

まずは・・・

- 自分がされていやなことはしない
- 相手の気持ちを考えて行動する